

4. 水族館観覧者（月別集計）

□平成 23 年度（2011 年 4 月 1 日-2012 年 3 月 31 日）

月	有 料						無料	前年度 有 料
	個人		団体		計			
	大人	小人	大人	小人	名	円	名	名
4	3,364	289	178	178	3,875	1,744,270	481	3,619
5	4,989	689	21	21	5,776	2,606,200	0	5,312
6	3,173	297	13	13	3,620	1,681,600	0	3,510
7	4,373	326	21	21	4,820	2,268,620	685	5,509
8	8,861	0	0	0	8,987	4,487,200	3,391	9,191
9	3,586	339	123	123	4,216	1,913,270	0	4,843
10	3,322	392	601	601	4,584	1,861,230	0	5,012
11	2,764	307	256	256	3,411	1,468,930	0	3,851
12	3,066	139	13	13	3,226	1,552,670	505	3,274
1	4,250	163	0	0	4,413	2,142,930	695	4,790
2	3,285	311	71	71	3,713	1,701,670	0	4,109
3	6,140	381	127	127	6,861	3,215,380	899	4,530
計	51,173	3,633	1,272	1,424	57,502	26,643,970	6,656	57,550

上記の集計には、臨海実習等実験所を利用した学生や教官、ならびに外来研究者等の来訪者は含まれていない。

5. 研究報告抄録

瀬戸臨海実験所研究報告 (Publications of the Seto Marine Biological Laboratory) の Special Publication Series 第 11 巻が、2011 年 11 月 15 日に発行された。掲載論文 1 篇、総頁数 311 頁。

論文 1. Ohgaki, S., Komemoto, K. & Funayama, N. 2011. A record of the intertidal malacofauna of cape Bansho, Wakayama, Japan, from 1985 to 2010. [大垣俊一・米本憲市・船山展孝: 和歌山県番所崎の潮間帯における 1985 年から 2010 年の軟体動物相の記録]. 和歌山県田辺湾の番所崎海岸 4,416 m² の岩盤上で、1985—2010 年の 25 年間、貝類相の調査を行い記録集とした。調査地の環境条件、出現した 242 種の全軟体動物のリストと各種の属性、年ごとの出現頻度、主要 100 種の経年分布変動図、及び結果の信頼度を検証するための方法検討調査の結果を示した。一般的傾向としては、1. 海側から陸側にかけて貝類相の特徴から 4 地帯が区別され、そのパターンは調査期間を通じて安定。2. 南方性、熱帯性の種数、累積分布範囲が期間中徐々に増加。3. 1997/98 年に貝類相全体として断絶が認められ、北太平洋生態系のレジーム・シフトのタイミングに同期。(1 - 311 頁)

瀬戸臨海実験所研究報告(Publications of the Seto Marine Biological Laboratory)第41巻が、2011年12月28日に発行された。掲載論文7篇、総頁数76頁。

論文1. Harada, H. & Kiene, R.: Assessment and characteristics of DMSP lyase activity in seawater and phytoplankton cultures. [原田百聞・一：海水中と植物プランクトン培養でのDMSP分解酵素活性のアセスメントと特性]。既存のDMSP分解酵素活性のプロトコルの評価と最適化を行い、この最適化された新しいプロトコルを用いて、大西洋、メキシコ湾、南極海等の海水、および珪藻類、渦鞭毛藻類、ハプト藻類、藍藻類のDMSP分解酵素の活性を調べた。その結果、太陽光が強く貧栄養の海域、及びその海域に分布する渦鞭毛藻類とハプト藻類が高いDMSP分解酵素の活性を示した。(1-16頁)

論文2. Putchakarn, Sumaitt.: Species diversity of marine sponges along Chanthaburi and Trat Provinces, the eastern coast of the Gulf of Thailand. [一：タイ湾東岸・トラット地方とチャンタブリにおけるカイメンの多様性]。タイ湾東岸・トラット地方とチャンタブリで11目37科52属のカイメンを採取した。この内、*Placospongia melobesoides*, *Eurypon* sp.及び*Rhabderemia* sp.はタイで初めて確認された。(17-23頁)

論文3. Sawangarreruks, S., Yaowasooth P., and Poovachiranon, S.: Nematode diversity at Thachin River Mouth, Samut Sakhon, Thailand. [一・一・一・一：タイ Samut Sakhon, Thachin 河口における線形動物の多様性]。タイ Samut Sakhon, Thachin 河口のマングローブ林と隣接する干潟で線形動物の標本を採取した。干潟で32属、マングローブ林で50属の線形動物を確認した。優先属は、*Terschellingia*, *Daptonema*, *Sabatieria*, *Hopperia* の4属を確認した。(25-34頁)

論文4. Eya, A., Lacuna, D. and Espra, A.: Gut content analysis of selected commercially important species of coral reef fish in the southwest part of Iligan Bay, Northern Mindanao, Philippines. [一・一・一・一：フィリピン・ミンダナオ島・イリガン湾南西部における商業的に重要なサンゴ礁に生息する魚類の消化管内容物の分析]。フィリピン・ミンダナオ島・イリガン湾南西部において、魚類の消化管内容物の分析を行った。魚類は、Gerreidae(*Gerres oyena*), Leiognathidae (*Leiognathus splendens*), Lethrinidae (*Lethrinus insulindicus*), Scaridae (*Scarus bowersi*), Siganidae (*Siganus guttatus* and *Siganus vermiculatus*), Theraponidae (*Therapon jarbua* and *Therapon* sp.), Mullidae (*Upeneus caeruleus*)の7科9種を分析した。ほとんどの種で動物プランクトンとベントスを捕食している事を確認した。(35-49頁)

論文5. Ahmad, O., Fang, T., and Yahya K.: Distribution of intertidal organisms in the shores of Teluk Aling, Pulau Pinang, Malaysia. [一・一・一・一：マレーシア・ペナン島 Teluk Aling 沿岸の潮間帯生物分布]。マレーシア・ペナン島 Teluk Aling 沿岸の岩礁域と砂浜の潮間帯から生物標本を採取した。砂浜では、*Umbonium vestiarum*, 岩礁域は、*Cthamalus* sp. が最も多く存在した。(51-61頁)

